

わくわく

9月号

本だな

1 2 3 年



E 『クラクフのりゅう ポーランドの<sup>むかしばなし</sup>昔話』

アンヴィル奈宝子／文・絵 借成社

おしろの<sup>ちか</sup>地下のほらあなに、何でも丸のみにしてしま<sup>なん</sup>うりゅう<sup>まる</sup>が住んでいました。王<sup>おう</sup>さまは、「たいじしたものは王女<sup>おうじょ</sup>とけっこんできる」というおふれを出<sup>だ</sup>します。そこで、くつやのドウラテフカは、ちえをしぼって、りゅうをやっつけることにしました。

えほん

K913 『おじょうさま<sup>しょうがくせい</sup>小学生はなこ

VS<sup>フェイス</sup>りんじのしいくがかり』

川之上英子／作・絵 川之上健／作・絵 岩崎書店

わたしは、はなこ。おひめさまみたいなおじょうさまよ。それなのに今日は、しいくがかりのしごとをたのまれてしま<sup>だい</sup>って、大ピンチ！うさぎのうんこはころがっているし、にわとりはとっしんしてくるし、<sup>しょうがくせい</sup>小学生もらくじゃないわ。

ものがたり



K913 『きつねのしっぽ』

おくはらゆめ／作 小峰書店

あめ<sup>ひ</sup>の日、きつねは1日中しっぽの手入れをすることに決めました。ところが、まつば<sup>つく</sup>で作ったとくべつなくしがありません。どうやらきのう、みずうみのそばで落<sup>お</sup>としてしまったようです。きつねは、どしゃぶりの雨<sup>なか</sup>の中をさがしに出かけました。

ものがたり

E 『どこからきたの？おべんとう』

鈴木まもる／作・絵 金の星社

お母<sup>かあ</sup>さんが作<sup>つく</sup>ってくれたおべんとうには、おにぎりとポテトサラダやアジフライなど、おいしそうなおかずがつまっています。

お米<sup>こめ</sup>は田んぼ、じゃがいもは<sup>はたけ</sup>畑、アジは<sup>うみ</sup>海でとれました。おべんとうのざいりょうはどこから来たのかみてみましょう。

ちしきのほん



わ く わ く

9月号

本 だ な

4 5 6 年



物語



K913 『イケてる！ろくろ首！！』

丘紫真璃／著 講談社

ろくろろっか  
轆轤六花は、家族全員、首が長～いろくろ首。もちろん、みんなにはひみつです。ところが、同じクラスの早瀬君に、のびている首を見られてしまいました。

「2日のうちに同じろくろ首を4回見た人間は、自分もろくろ首になる」という法則で、早瀬君までろくろ首になりました。さらに、学校で早瀬君の首が体からぬけてしまいます。

物語

K913 『ぼくと母さんのキャラバン』

柏葉幸子／著 泉雅史／絵 講談社

さいきん  
最近、ぼくの母さんの様子がへんだ。いるはずのない場所にいたり、ぼんやりしていたり。ある夜、冷蔵庫をのぞきこんでいると、だれかがぼくのかたに手を置いた。ふりむくと、そこにいたのは巨大なネズミで、母さんを探しているという。母さんが家から消えてパニックになったぼくは、しゃべる巨大なネズミといっしょに異世界にまぎれこんでしまった。



ちしきの本

E 『プラスチック星にはなりたくない！』

地球のためにできること』

ニール・レイトン／作・絵 いわじょうよしひと／訳

高田秀重／日本語版監修 ひさかたチャイルド

世界では、年間3億トンをこえるプラスチックごみが出ます。このままごみを捨て続けると、どんどんたまって、地球がプラスチック星になってしまうかもしれません。

物をくり返し使ったり、必要なくなった物をだれかにあげたり、いつも使っている製品を環境にやさしい物にかえてみたり。地球のためにできることを考えてみましょう。



図書館のまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200